

令和5年度第1回恵那市総合計画推進市民委員会 会議録

日時：令和5年8月31日（木）午後3時30分～

場所：恵那市役所 会議棟 大会議室

1. 開会
2. 委嘱書の交付
3. 会長あいさつ
4. 副市長あいさつ
5. 議事
 - (1) 総合計画の進行管理について 資料1、2
 - (2) 総合戦略の進行管理について 資料3
 - (3) 地方創生交付金事業の効果検証について 資料4
6. その他
次回 令和6年3月頃の開催予定
7. 閉会
8. 出席者の数・・・13名（欠席者なし）

	氏名	選出団体等	備考	出席
1	赤井 恵美	公募		出席
2	安藤 啓高	恵那市民生委員・児童委員協議会		出席
3	市川 祥子	恵那商工会議所		出席
4	岩井 慶次	恵那市防災研究会		出席
5	紀岡 伸征	恵那市社会福祉協議会		出席
6	瀬瀬 美由紀	恵那市農業委員会		出席
7	坂井 能子	恵那職業安定所		出席
8	佐藤 亜弥美	公募		出席
9	芝田 幸代	恵那市恵南商工会女性部		出席
10	西尾 修欣	恵那市教育委員会		出席
11	服部 敦	中部大学	会長	出席
12	平林 道博	地域自治区会長会議	副会長	出席
13	山川 晃司	十六銀行恵那支店		出席

1. 開会

■事務局（進行） これより開会する。私は司会の企画課長の和田です。

本日の会議は、全員出席である。恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱により、原則公開とする。会議は1時間30分を予定し、終了は5時ごろの予定でお願いします。

2. 委嘱書の交付

■事務局（進行） 4月の人事異動で、名簿にある坂井能子様と山川晃司様が新しく委員になられたので委嘱書を交付する。自席で起立をお願いします。

〔 副市長から委嘱書を交付 〕

■事務局（進行） 自己紹介をお願いします。

■坂井委員 ハローワーク恵那の坂井能子です。この4月に大垣のハローワークから転任してきた。よろしくお願いします。

■山川委員 十六銀行恵那支店の山川晃司です。4月に着任した。恵那のことを最近勉強しているいろいろ分かってきたがまだこれからだ。よろしくお願いします。

3. 会長あいさつ

■会長 新しく委員になられた方、よろしくお願いします。今日少し早く来たらいつもと違う感じがした。職員がラリーのユニフォームに統一されていることに気付いた。この統一されたユニフォームで一丸となって総合計画の推進に取り組んでいただきたい。いつものように円滑な進行に心がけるので、協力を頂きたい。

4. 副市長あいさつ

■副市長 今日事務局から「総合計画推進市民委員会はWRCのユニフォームを着てください。なお、色は自由」ということだった。色展開は、黒、青、白の3色。議会へもこういう格好でピーアールしてほしいと申し入れた。9月に着るように話している。

市長がポーランドに出張中。火曜日の11時に羽田発で土曜日に帰り日曜日の防災訓練には出席する。タイトなスケジュールだ。岐阜県知事がポーランドのシロンクス県と協定を結ぶということだった。東京オリンピックのときにポーランドカヌーチームをホストタウンとして受け入れた縁から、知事より恵那市にも参加要請があった。ポーランドの日本大使より、ポーランドの日本美術技術博物館マンガと広重美術館との交流を行いたいとの話

を頂き、交流に向けた調整を行う。

6月に岐阜県の第1号となる「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」に岩村町と下呂市小坂町の2つが指定された。これから岩村をPRしていくのでよろしくお願いします。

9月23、24日にはみのじみのり祭りが開催される。例年と違い五平フェスが開催される。

また、11月16～19日にWRCが開催される。19日に当地域を走る。11月25、26日に全国発酵食品サミットを恵那文化センターで行う。日本各地から人が集まるので、恵那食文化をPRしていく。

5. 議事

(1) 総合計画の進行管理について

(2) 総合戦略の進行管理について

■会長 議事 (1) (2) について資料1～3の説明を頂く。

[事務局から資料1～3に基づき説明]

■会長 質問、意見があれば。

■委員 資料2の6ページ、「健康な体を維持できる」。先日は、中央公園を整備していただきありがとうございました。今若い子どもたちが集っている。高齢者のストレッチとか、高齢者が集える場所というところも、医療福祉という観点では必要ということで意見を述べたい。

7ページ。「事故から身を守る」とあるが、現在ETC2.0が普及してきている。これをどう活用するかという質問。

8ページ。高齢者、「災害から生活を守る」とあるが、私は恵那市防災研究会を主催しており、行政のみならず、我々の防災に関係したスキルも活用してほしいと提案をさせていただく。

若年層への普及に加え、高齢者等の普及を図っていくという意見があったが、サロンなどを通じて十分活動ができるのではないかと思う。

■建設部 まずは、公園について。中央公園は今年度完成して初日は400人を超える方に来ていただいた。大変ありがたい。整備にあたり委員会を立ち上げ、岩井委員にも委員になっていただいたが、皆さんの意見を頂き、高齢者が集えるということもテーマにあり、それも網羅した。今後も、あれで完成ではなく、地域ごとに整備していきたい。それも皆さんの意見を聴いて、対象をどうするかも加味しながら整備したい。その節はぜひご協力をいただきたい。

ETC2.0。昨年度国交省からETC2.0の結果を頂いた。大井小学校の辺りの交通体系がどうなのか分析している。危険なところはすぐ分かるので、その対処が今年度の予算になっ

ている。長島町などにも展開して活用していきたい。

■総務部 避難場所は、指標が A になった。しかしまだ行き届いていない部分があると思っている。これまでコロナの関係もあり、令和 2、3 年度は市民を巻き込んだ大規模な参集訓練ができなかった。今年度は地震を想定した。昨年度は大雨を想定した。大雨の場合は、全員参集はしない。各自で垂直・水平避難を行うということを行なった。今年度は市民全体を対象に参集訓練をする。そこで避難所についてより周知を図りたい。

災害時の今年度の取組で、避難行動要支援者個別支援計画に取り組んでいる。対象の高齢者等に対して、地域で情報を共有し、自治会、消防に情報を渡して、有事にはそれを活用し、救助、避難を進める。昨年度準備をして、今年度各対象者に配り、情報提供をしていいか悪いかをそれぞれに尋ねたが、回収率がまだ低く、全体で 50% ぐらいしか返していただけてない。引き続き連絡を取り合いながら情報を集めたい。

■委員 リニア関係で。中津川市では着々と工事が進んでいる。リニア駅へのアクセス道路は、市の事業ではまかないきれないと思うが、県、国への働きかけを含めての意見となる。中央自動車道から JCT が延び、そこからリニア駅まで延伸されると聞いている。旧瑞浪恵那道路も工事が進んでいる。東西あるいは北の方面への道路が進んでいるように見える。駅への南からの道路整備がどうなっているのか。既に計画があるなら知りたい。まだなら進めてほしい。リニア駅を中心に円を描いたときどこからでも来られるように。昔、岐阜県知事が県内どこからでも県庁に 1 時間で来られるような道路を作ると言っていた。リニア岐阜県駅へのアクセスを考えると、全方位からの道路が必要だと思う。その予定を聞きたい。

■建設部 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画がある。冊子がある。令和元年に作成した。リニア開業までにどう道を作るか、リニア開業後の大阪まで延伸される 10 年後までに何をするか。それをここで示している。ルートは、中津川と恵那とリニア駅を結ぶ、市街地を結ぶ道路が必要なので、恵那の中心市街地から中津川の中心市街地へリニア駅を通過していく道路を、今、中津川市と恵那市と県とで検討している。中津川市の土地なので難しいところがあるが、ルート選定はしっかりやる。南側は、豊田市からのアプローチがあるので、豊田明智線も重要なので、県と整備の検討をしている。恵那市としてしっかりやる。

■委員 「1、安心して子どもを育てられる」で、私は地域未来塾の講師をしており、その中での提案だが、開講が前年に引き続き横ばいだったということで評価が E になっている。去年、一昨年と講師をして、そこを巣立っていった高校生などで優秀な子もたくさんいる。現在、講師は元先生で 60、70 代がほとんどで、地域の高校生などが講師の手伝いに入るなど、地域の大学生が未来塾の講師として活躍してくれるといいと思っている。

教育全般で、私の息子が小学生で不登校気味で、先月教育に関する対話会を笠置コミュ

ニティセンターで開催した。親が教育をどう考えているかざっくばらんに考える会だが、50名ぐらいコミセンに集まった。いろいろな立場の人がいたが、共通しているのが、私たちが育ってきた頃のような教育、学校の理想像が、今の子どもたちとすごく違う。理想の先生像も変わってきている。それで親世代も戸惑っている。子どもがなぜ行きたくないのか理解できないという親が多かった。またやってほしいということなので、この会は有志で続けていきたい。

それに関連して、恵南の中学校の統合について。報道でもあったが、市民と市の間で対話がなかったと報道されたのは残念だ。これを機により良いコミュニティスクールづくりができるのではないかと。私は当事者ではないが、友人が岩村や明智にいる。反対派も賛成派も友人がいる。提案としては、市と市民の対話を増やすことと、今後、統合は仕方ないと思うが、学校に通うのに1時間かかる子も多いと思うので、ICTを活用しZoomでの授業も可能なので、週3回はコミセンで授業を受け週2回はバスで学校に行くようなことが柔軟にできると思う。それで最先端の仕組みづくりができる。どう考えているか。

■教育委員会 未来塾について、そういうところから羽ばたく学生を講師にするのはいい考えだ。学校では教職員の不足が大きな課題で、学校や県教委でもそういうものを育成する授業をしており、高校生に中学校に来てもらって支援していただくことも含め、そういう学生を広げながら教員の人材を確保していく。おっしゃったことはそれに重なるので進めていきたい。

不登校のこと。サロンのようなものを学校単位でやっているところもある。子どもには適応教室で対応しているが、保護者の不安を解消することも非常に大事なので、学校のサロンを拡大したものを市で行うことも考えて進めたい。

■教育委員会 統合について。すべてが新聞の通りではないことも御理解いただきたい。対話の機会について、今年1月には保護者対象に説明会をしたが、まだ機会が足りないので、5月に準備委員会を立ち上げた。小学校、中学校のPTAから1名ずつ委員になっていただき、どうしていくべきかの会話をする機会を設けた。まだ代表だけなので、今後、学校ごとにさらに対応する機会を作ればと思う。

コミセンを活用した学習。ICTが発展し、技術的には対応可能だが、制度上の制約がある。現時点では、コミセンで学校の授業を受けても、登校という形にはならない。一方で、子どもが学ぶ場所が必要になるので、夏休みに、家で勉強しづらい子がコミセンで勉強でき、オンラインも活用できるというような学習の場は検討している。そういうところを、準備委員会や部会で意見を聴き反映していきたい。

■委員 「4、健康な体を維持できる」。人が幸せに生きることにに関して、健康は大きなウエイトを占めている。その中で、市が送ってくれる健診の案内によって健診に行ける人は、健康に関心のある人だと思う。働き盛りの世代は会社で健診を受けている人もあるが、

先延ばしにしている人も多いと思う。年配の人は、移動手段があれば気軽に行ける。前向きな人へのアプローチはできているので、関心の低い人は、受けたくても受けられない状況の人の底上げをもう少しすることを、次の段階でやるのが健康へのまちづくりになると思う。

■医療福祉部 健診の受診率を高めることが、国民健康保険の医療費を抑えるためには一番だということは、市役所の中で考えは一致している。関心のある人は健診を受けるが、関心のない人、今のところ健康な人、何かあればどこかで受けられるという意識の人がまだ半分ぐらいいる。そこをどうするかは、1つの課だけではなかなかいい案がない。組織を横断してでも健診率を高めることが組織的な課題であり、今一生懸命策を講じている。決定打がないが、いい意見があれば教えていただければしっかりと参考にする。

■副委員長 全体を通して、資料2の例えば「10、行きたいところへ行ける」という基本目標に向かって「4、5年度の事業」があり「目標指標の推移」と分かりやすく、感謝する。新規事業に積極的に取り組み、意欲的な市政が展開されている。ただ、10は「行きたいところへ行ける」と目標指標の推移で「公共交通機関の年間利用者数を増やす」ということで、4年度の実施と5年度の事業は関連性があるが、6では、目標指数は「災害時避難行動要支援者戸別支援計画策定率」「緊急避難場所を知っている市民の割合」「総合防災訓練参加者の割合」を目標にしている。なので、切り込み方だと思う。目に見えるものを通して目に見えないものに迫るようなやり方だ。ある上り方を決めてやっていくということなので、目標指標に向かっていくような令和4年度の実施事業と令和5年度の新規事業でないといけない。河川の監視カメラを設置するのもいいし、消防指令業務を東濃5市で一本化することもいいが、それが目標指標とかけ離れている。来年度新規事業を立ち上げる時、事業の絞り込み、重点化をするべき。要支援者支援計画ならその策定率を上げるようにピンポイントに絞っていくと一貫性があっていいと思う。指標に突き進んでいくような新規事業、施策を考えるといいと思う。

■事務局 貴重な意見ありがとうございます。新規事業を作成するときも、指標の改善に向けて取り組む。次年度も資料の作り方、指標にマッチした作り方を心掛けていく。

(3) 地方創生交付金事業の効果検証について

[事務局から資料4に基づき説明]

■会長 全体としてこの事業は目標達成に有効だったかどうかを審議する。事務局としては、全体としては目標達成に効果的であったと結論付けていいかということだ。異議があるか。

[異議なし]

■会長 交付金事業については KPI 達成に効果的であったと結論付ける。

その他、全体を通して意見等あれば。

■委員 資料を見るのに時間がかかった。これを審議するのに 1 時間半というのは少ない。責任が持てない。

■会長 いくら時間を設けても言い足りないことはあると思う。言い足りないことをどのように事務局に伝えるかも含めて検討いただき提案いただきたい。

■事務局 承知しました。また委員に伝える。

■会長 議事を終了する。

6. その他

次回 令和 6 年 3 月頃の開催予定

■事務局（進行） 次回会議は 3 月を予定している。

7. 閉会

■副会長 委員からは専門的な立場から御意見をいただき総合計画が深まったと思う。令和 3 年から 7 年の 5 年間で第 2 次総合計画の期間で、ちょうど 2 年半経って折り返し地点だ。コロナが 5 類になり経済活動も活発になってきた。後半の 2 年半、今までの遅れを取り戻し、行政の皆さんには総合計画 E はやめてもらい、S ばかりにしてもらいたい。令和 7 年は恵那市政の 20 年の節目になる。皆で総合計画をきちんとやりきり第 3 次に向けて新しい目標を作って頑張ろうということにしたい。

1 週間前に街の住みこちランキング 2023 というのがある某ハウスメーカーから出ていた。前提として、某ハウスメーカー契約が 50 人ほどいないとランキングにカウントされないものだが、岐阜県では本巣郡北方町が 1 位、不破郡垂井町は 2 位、恵那市は下の方にも入ってなかった。ぜひ、一度見てほしい。小さな町もよく頑張っている。交通の利便性ではここがいい、というのもある。恵那市も WRC、アウトドアリゾートなどに着目して育てているので、市民も一緒になって応援していきたい。行政と市民との協働で住みよい恵那市ができたらい。

■事務局（進行） これで終了する。

[閉 会]

令和5年度 第1回総合計画推進市民委員会 会議後意見一覧

NO	意見
1	<p>○会議運営について</p> <p>会議後に、このような意見を残す機会を作ってください感謝している。</p> <p>会議資料について。去年の資料と比較すると今回の資料は、去年の会議を受けてかなり分かりやすく、具体的に施策を検証・分析されていることがわかった。大変苦労をされたと思うが、わかりやすく資料を作ってください、こちらとしても検証しやすかった。感謝している。</p> <p>恵那市は、職員や議員と市民との距離が近いと、市民運動もとてもし易く良い市なのではなかろうか、とポテンシャルを感じている。</p> <p>これは恵那市の市民性かと思うが、こうして話を聴いていただけるため、民意を反映してもらえることはとても嬉しく感じている。職員の皆様方が恵那が好きで、とても熱心に市政を担っているということがよくわかり、ありがたい限りである。</p>
2	<p>○環境について…あるいはインバウンドと里山リソースの関係性について</p> <p>今、恵那市は観光に注力し、インバウンドを含め様々な施策をしていると思う。恵那市は78%が森林と、山深い地。恵那市の森林は、木材という面で語られることが多いが、この土地に根差した里山文化や森林がもつ生態系などは、まさに資源だ。</p> <p>エコツーリズムや、田園・森回帰などの運動が、ヨーロッパでは1970年代から盛んだが、近年では日本でも意識が高まっている。</p> <p>恵那市はICもあり、この森林面積を保ち続けておりさほど寒くないため、長野県よりも、エコツーリズムという意味ではポテンシャルが高いと思う。</p> <p>そのため、市としても「エコツーリズム・グリーンツーリズム・サステイナブルツーリズム」などを取り組めば、交通環境の良い恵那市なら頭角を現せると思う。サステイナブルツーリズムと、自然保護、生態系保護などはセットになっている。</p> <p>下記URLを参考として共有するため、こういう方針もあるということを片隅に入れていただければ、幸いである。</p> <p>(参考) https://api.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/747/025_p037.pdf</p>
3	<p>○子育てについて</p> <p>今後、少子化はひどくなる一方のため、考えるべきことはたくさんあるが、「子育て世帯が恵那市に引っ越してきてくれる・出て行ってしまったUターン者を増</p>

	<p>やす」などが必要かと思う。</p> <p>恵那市として大きくイベントなど打つよりも、各地域にも移住定住委員会があるため、そことより協同して、密に関わってもらえると、ある程度結果を出すことが短期的に可能かと思う。</p> <p>(つまりは移住定住の予算を各地域に分散してほしいということ。)</p> <p>日本全国で少子化は課題のため、どこが子育て世帯に選ばれていくか、という事かと思う。恵那市は選ばれてしかるべきだと思う。</p>
4	<p>○教育について</p> <p>他市で教員の友人に聞いたところ、その地域では「学びの共同体」という考えをもとに教育方針を最近がらっと変えたということ。</p> <p>どの地域でも少子化しているのは同じ状況下のため、恵那市でもこのようなソフト面の教育改革は出来なくないと思う。0円でできる構造改革である。</p> <p>コミュニティスクール構想含め、できるかぎりのことは協力していきたいため、ぜひご一考をお願いしたい。下記にて参考を共有する。</p> <p>(参考) https://kyoiku.sho.jp/2922/</p>
5	<p>○リニアについて</p> <p>三河地区方面からリニア岐阜県駅へのアクセスが大切である。また明知鉄道の岐阜県駅までの延伸もよいだろう。</p>